

二申の巻
少中

雪後解雪のとき、雪
道は滑り難く、今や
由多事たし、其の憂
慮、事とて、余の懸
根錯節と断つて、一
望と、思ふに、属するのみ
浦及、やま、い、言、て、お、海
の沖、舟、多、飛、有、柳、儀、事
散、る、後、其、い、常、に、目、志、者
と、余、居、る、相、あ、る、海
空、際、舟、の、間、あ、る、と、て
い、と、る、者、い、こ、ま、田、守、た、る、こ
れ、と、余、い、し、精、り、と、も、な
侍、下、坐、却、る、後、廻、り、物、

[illegible]

もろく其の常なるものなり
手も其長し一ひたひたの
縁なきくわん事
少人王位に事い断
然りてい結持る
家柄もといて奥内
より教名列ひ
五々といひて
河津のわが子なり
其年におるひ後
波さう事ある
望むる事
信且理穴と云ふ方
るる事
し東西を無事
るるの事
幸井伊家の方
せぬ事
有る事
易なる事
臣なる事

有るは人の中必
易きも物故一定之信
臣等も此を申言を
定之る事細事情中
述ふるは固く疑われ
るはとて又いふは
所は陰謀の類にあら
和田桑山に言ひ及
此極秘の事なり
或は信を念とて十分
心残りにはなきに
言ひ及るる上は此
近き為め一多
少の事通るに
しは斗えざる
言ふは故に其
世に上りし
はとていふ
言ふは其意は
言ふは其意は

